

年間授業計画 様式例

井草 高等学校 令和7年度(2学年用) 教科 公民 科目 公共

教科: 公民

科目: 公共

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組 ~ G 組

教科担当者: (A組: 亀井) (B組: 市原) (C組: 亀井) (D組: 亀井) (E組: 亀井) (F組: 市原) (G組: 市原)

使用教科書: (高等学校 公共(清水書院)、最新図説 公共2025(実教出版))

教科 公民

の目標:

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関する現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 公共

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関する現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して課題を克服し、人間としての在り方並びに自らの自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数		
1 学期	・青年期の特徴と発達課題。様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方について思索を深める。 ・ギリシア哲学や宗教の学習を通して、「幸福」「愛」「他」などの観点から、人間としての在り方生き方について思索させるとともに、人生における宗教や芸術の持つ意義について理解させる。 ・日本の思想が我が国の風土や伝統、外来思想の影響を受けながら形成されてきたことを理解させ、国際社会に生きる日本人としての自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。	1 私たちの人生と社会 2 青年期の心理と課題 3 哲学の起源と発展 4 一神教の教え 5 東洋の宗教と思想(1) 6 東洋の宗教と思想(2) 7 日本の風土と神仏への信仰 8 江戸時代の学問と近代化への歩み	【知識・技能】 青年期や源流思想に関する基礎的な知識を身に付けているか 【思考・判断・表現】 資料等から適切に情報を読み取れたか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組んだか	○	○	○	5	
	・カントの思考と功利主義の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について考察させる。 ・生命科学や医療技術の進展にもなっている倫理的課題から、生きることの意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察させる。 ・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について考察させる。	9 義務論と功利主義 10 生命倫理 11 環境倫理	【知識・技能】 動機・帰結主義主義や生命・環境倫理に関する基礎的な知識を身に付けているか 【思考・判断・表現】 資料等から適切に情報を読み取れたか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組んだか	○	○	○	8	
	定期考査			○	○		1	
	・経験論や合理論などの科学的な思考、社会契約説、ヘーゲルやマルクス、実存主義などの近代思想を通して、自然と人間との関わりを理解させ、社会の在り方と人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。 ・ハーバーマスのアールレント、ローレンスの政治理論の理解をもとに、「公共的な空間」として形成された現代社会の諸課題、「社会的存在」である人間の在り方生き方について考察させる。	12 近代的人間像の誕生(1) 13 近代的人間像の誕生(2) 14 国家社会と人間性(1) 15 国家社会と人間性(2) 16 国家社会と人間性(3) 17 公共性の復権と他者についての思想 18 公正な社会と個人—現代の政治思想	【知識・技能】 近現代、現代の思想家に関する基礎的な知識を身に付けているか 【思考・判断・表現】 資料等から適切に情報を読み取れたか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組んだか	○	○	○	8	
	・個人の尊重と基本的人権の保障、法の支配や立憲主義という近代民主主義国家の基本原則を理解させ、国民の自由や権利が保障されていることの意義を考察させる。 ・日本国憲法の成立について、その歴史的背景と経緯について理解を深める。 ・日本国憲法の三つの基本原則を踏まえ、平和主義と日本をめぐる安全保障に関する情勢を理解させる。	19 近代国家と立憲主義 20 日本国憲法の成立 21 日本国憲法の三原則と人権保障 22 平和主義と国際社会	【知識・技能】 基本的人権の保障や日本国憲法の成立や、基本原則に関する基礎的な知識を身に付けているか 【思考・判断・表現】 資料等から適切に情報を読み取れたか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組んだか	○	○	○	7	
	定期考査			○	○		1	
	2 学期	・日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。 ・現代社会において、基本的人権を拡充するものとして主張されている新しい人権の内容を理解させるとともに、国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。	23 平等権 24 自由権 25 社会権 26 参政権の保障と国務請求権 27 新しい人権 28 グローバル化と国際人権	【知識・技能】 日本国憲法に関する基礎的な知識を身に付けているか 【思考・判断・表現】 資料等から適切に情報を読み取れたか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組んだか	○	○	○	10
		・民主社会の成立過程、現代社会の民主政治の仕組みと世界の政治制度について理解させる。 ・民主政治における世論形成と政治参加の意義について理解させ、主権者(有権者)として社会に関わる意識を高めさせる。	29 自由民主主義の成立と危機 30 現代の民主主義と課題 31 世論の形成と民主社会 32 政治参加と主権者(有権者) 33 選挙と政党	【知識・技能】 民主政治に関する基礎的な知識を身に付けているか 【思考・判断・表現】 資料等から適切に情報を読み取れたか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組んだか	○	○	○	10
		・私たちの生活における経済の役割について理解させる。その際、消費者の権利と責任、職業選択、マクロ経済などについての基本的な知識を身に付けさせ、経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察させる。 ・市場経済の機能、金融や財政の仕組みについて理解させ、その役割と課題について多面的・多角的に考察させる。	34 私たちと経済 35 仕事と社会 36 国民経済とGDP 37 社会のしくみとしての市場 38 市場の機能 39 市場の限界	【知識・技能】 経済の基本原則や我が国の市場に関する基礎的な知識を身に付けているか 【思考・判断・表現】 資料等から適切に情報を読み取れたか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組んだか	○	○	○	12
		・現代の企業の仕組みと特色を理解させ、企業統治や企業の社会的責任などについて考察させる。 ・日本経済の歩みを通して、公害、環境保全、雇用と労働問題、少子高齢化における社会保障の課題について、社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、多面的・多角的に考察させる。	40 金融とそのはたらき 41 財政とそのはたらき 42 現代の企業 43 労働問題 44 社会保障の役割 45 少子高齢化と財政の維持可能性	【知識・技能】 現代の企業や現代の経済に関する諸課題に関する基礎的な知識を身に付けているか 【思考・判断・表現】 資料等から適切に情報を読み取れたか 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に学習に取り組んだか	○	○	○	8
							合計	
							70	